

第9回 医療機器開発全般セミナー 医療機器開発 成果報告会 医療機器製販企業 講演会

3/17 **金**

15:00 ~ 17:15
(17:30 ~ 懇親会)

[場所] ホテル ブエナビスタ
2Fメディアール

15:00~16:00 ● 第9回医療機器開発全般セミナー

～医療機器関連法規制編～

演題：「医療機器のユーザビリティ」

講師：株式会社サン・フレア

リサーチ&コンサルティング部門 コンサルタント 佐藤 英樹 氏

医療機器のQMS規格ISO13485:2016にユーザビリティの要求が追加されるなど、近年国際的にますます重要性が増している医療機器「ユーザビリティエンジニアリング」について、簡単な実例も交えてご案内いただきます。

16:15~16:35 ● 医療機器開発 成果報告会

演題：「心肺蘇生音声ガイド『レスキューボイス』の開発について」

講師：信州大学医学部医学科人体構造学 准教授 川岸 久太郎 氏

今年度の成果事例として「レスキューボイス」について報告していただきます。

16:35~17:15 ● 医療機器製販企業 講演会

演題：「医工連携における製販企業との連携の仕方」

講師：株式会社常光 医療機器・診断薬事業本部

営業サービス部 学術マーケティング課 課長 薬袋 博信 氏

(株)常光や日本医療機器協会の活動紹介および、製販企業との連携の方策等についてご講演いただきます。

17:30~ ● 懇親会 (※会費制：3,000円)

※要事前申込。当日会場にて懇親会参加費3,000円を頂戴いたします。

心肺蘇生音声ガイド『レスキューボイス』

レスキューボイスは、自分を守る防犯ブザーと、人の命を守る心肺蘇生ガイダンスを搭載したキーホルダーです。



信州大学の川岸久太郎准教授（学術研究院医学系）と、国際医療福祉専門学校顧問の増茂誠二氏によって開発された従来の心肺蘇生音声ガイドは、その有用性が評価されていました。同時に、いくつかの課題も浮かび上がってきたため、信州メディカル産業振興会の救急医療機器開発部会において、現行品の課題解決と共に2015ガイドライン改訂に準拠した新製品の開発を検討することになりました。その中で、防犯ブザー「ろくちゃん」の製造・開発元である(有)スワニー（信州メディカル産業振興会会員）と出会い、県内企業（伊那地域）グループによる開発を進めることとなりました。

申込方法

- ① 企業名（機関名） / ② 所属・役職 / ③ 氏名
- ④ 医療機器開発全般セミナー（参加・不参加）
 成果報告会（参加・不参加）
 医療機器製販企業講演会（参加・不参加）
- ⑤ 懇親会（参加・不参加）

をご記入の上、E-mail: smia@shinshu-u.ac.jp 宛てにお申し込みください。

【申込期限】3月16日（木）

※懇親会参加ご希望の方は3月10日（金）までにお申し込みください。

なお、当日受付にて参加費3,000円を頂戴いたします。

アクセス



ホテル ブエナビスタ


〒390-0814

長野県松本市本庄 1-2-1

TEL. 0263-37-0111

詳細なアクセスにつきましては、
ホテルブエナビスタホームページより
ご確認ください。

<http://www.buena-vista.co.jp/access/>

 お問い合わせ先

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構
担当：宮入、山田 TEL：0263-37-3421